

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：平成27年8月26日

評価者：市民・こども局指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

| | |
|-------|---|
| 施設名 | 川崎市アートセンター |
| 指定期間 | 平成24年4月1日～平成29年3月31日（開館日 平成19年10月31日） |
| 業務の概要 | 1 アートセンター事業の実施に関する業務 2 施設の運営に関する業務、施設及び設備等の維持管理に関する業務 3 その他施設の管理運営のために必要な業務 |
| 指定管理者 | 名称：川崎市文化財団グループ 代表者：公益財団法人川崎市文化財団 理事長 北條 秀衛 住所：川崎市川崎区駅前本町12番地1 電話：044-222-8821 |
| 所管課 | 市民・こども局市民文化室 044-200-2444（内線：27723） |

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

| | 評価項目 | 事業実施状況等 |
|---|-----------------------------|---|
| 1 | 市民や利用者に十分な量及び質のサービスを提供できたか。 | <p>1 事業の概要等について</p> <p>アートセンターでは、新しい芸術文化を創り発信する（創る）、芸術文化の担い手を育てる（育てる）、市民が質の高い芸術文化を楽しむ（楽しむ）、ネットワーク型アートセンターコアとして芸術のまちづくりをリードする（ネットワークする）、質の高い企画力と効果的・効率的な管理運営を継続する（効果的運営）、という運営方針に基づき、劇場（アルテリオ小劇場）と映像ホール（アルテリオ映像館）などの施設を活用し、芸術文化の創造・発信・交流を促進するための事業を行うとともに、情報の収集や提供、活動の支援等を行なっている。また、施設や設備を市民の利用に供し、芸術文化に係る施設や活動団体との連携を推進している。</p> <p>（1）小劇場</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年4月よりアルテリオ小劇場で行う主催公演を「しんゆりシアター」と名付け、リージョナルシアター（地域劇場）として、創造発信拠点となる地域劇場を目指し公演を実施した。 特定事業の青少年舞台芸術活動事業では、平成24年度に市内在住・在学の小学生・中学生・高校生を含む青少年とプロの俳優とで稽古を重ねヤングミュージカル「青い鳥」を上演した。平成25年度以降は青少年を含む市民公募の地域劇団「劇団わが町」を立ち上げ地域を題材とした作品等により公演を開催した。また、演劇・ミュージカルを題材にしたワークショップを地域の若年層、親子を対象に開催し、青少年が舞台芸術に触れる機会を提供した。 市内外を問わず人々が気軽に芸術文化に親しめるよう、ジャズ音楽（年5～6回と寄席（年10回）の定期公演を開催し、多様な芸術文化の発信と鑑賞機会の提供に取り組んだ。 <p>（2）映像館</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像館では、1日平均5回の上映を行った。 上映映画に関連し、映画監督や出演者、作家、美術館学芸員などを招き、トークや舞台挨拶を開催し、映画に対する理解や興味を深める機会を提供した。 |

- ・副音声イヤホンガイド付き上映や日本語字幕付き上映、保育付き上映などバリアフリー上映を実施した。
- ・小学生を対象にしたシネマ・アニメーションワークショップを、春休み・夏休みに開催し、映画・アニメを自ら作ることで、映画の楽しさを体感してもらうなど、青少年の芸術文化に対する関心を高める事業を実施した。

(3) 市が指定する特定の事業に関すること

- ・「KAWASAKI しんゆり映画祭」では、メイン会場として多様なプログラムで上映し映画の魅力を体感する機会を提供した。
- ・新百合ヶ丘駅周辺の文化芸術施設が協働して開催する芸術イベント、「川崎・しんゆり芸術祭」(アルテリッカ・しんゆり)では事務局を担い、地域と連携した芸術のまちづくりを推進した。

2 利用実績について

(1) 小劇場 (席数 195 席)

ア 小劇場公演等回数・入場者数

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------------|--------------|--------------|
| 126回 15,720人 | 136回 17,925人 | 135回 17,116人 |

※ 主催・共催・提携事業、貸館事業での公演等回数。

イ 小劇場日数別利用率

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|
| 72.9% | 63.4% | 66.3% |

※前記アの公演等のほか準備等も含んだ小劇場の利用率。ただし、第2期からは主催公演にかかる稽古については第2期指定管理者グループの施設を無償で活用しているため小劇場の利用率としては減少している。

ウ 青少年舞台芸術活動事業公演回数・入場者数

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------------------|--------------------------|-------------------------------------|
| 3回 555人 会場：アートセンター | 10回 1,411人 会場：アートセンター | 7回 1,258人 会場：多摩市民館、麻生市民館、アートセンター |

※平成24年度はヤングミュージカル「青い鳥」を3公演、25年度は青少年を含む市民劇団「劇団わが町」による旗揚げ公演「わが町しんゆり」を5公演及び「夢見る人」を5公演実施した。26年度は「劇団わが町」による旗揚げ公演「わが町しんゆり」を市内巡回公演として多摩市民館及び麻生市民館で計2公演実施し、「ザ・チャーホフ」を5公演実施した。

エ 小劇場ワークショップ等事業 事業数・参加者数

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------|----------|----------|
| 3事業 382人 | 2事業 496人 | 2事業 298人 |

※平成24年度は「かわさき赤い鼻教室」、「腹筋善之助作・演出作品での川崎インキュベータ(出演者ワークショップ)」、「和太鼓ワークショップ」の3事業を実施。平成25年度及び26年度は演劇ワークショップ及びミュージカルワークショップの2事業を実施したが、25年度の参加者が多いのはミュージカルワークショップ最終日の発表会において見学に来られた父兄を数に含めていることと、開催日数が1日多いこと(25年度は全7回、26年度は全6回)が主な理由である。

(2) 映像館 (席数 113 席)

ア 映像館上映等回数・入場者数

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------------|----------------|----------------|
| 1,463回 48,228人 | 1,489回 49,691人 | 1,460回 65,224人 |

イ 映像館日数別利用率

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|
| 90.8% | 91.6% | 91.9% |

ウ 映像館トーク等事業実施回数・入場者数（共催のしんゆり映画祭を除く）

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------------|------------|---------|
| 22回 1,603人 | 14回 1,085人 | 8回 351人 |

※平成26年度は通常の上映プログラムにおいて話題作が多く入場者数が多かったため、一般来場者への配慮からトーク等事業は回数を減らして実施した。

エ バリアフリー上映回数

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|
| 21回 | 27回 | 47回 |

オ KAWASAKI しんゆり映画祭 上映回数・入場者数

| 平成24年度 10/6～10/14 (9日間) | 平成25年度 10/5～10/13 (9日間) | 平成26年度 10/25～11/3 (9日間) |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 43回 2,824人 | 36回 3,402人 | 32回 2,314人 |

カ アルテリオ・シネマ会員数（年度末（3月31日）時点）

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|
| 1,785人 | 2,186人 | 2,782人 |

(3) その他の施設

ア 映像編集室利用数及び利用率（1日3区分別）

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------|----------|--------|
| 69回 6.6% | 54回 5.2% | — |

イ 録音室利用数及び利用率（1日3区分別）

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------------|----------|--------|
| 141回 13.5% | 198回 19% | — |

ウ 映像編集室及び録音室の利用数合計及び利用率（1日3区分別）

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------------|------------|------------|
| 210回 20.2% | 252回 24.2% | 414回 39.8% |

※平成26年度からは、映像編集室の機能を録音室に編入したため、利用数を合算して集計している。

エ 楽屋利用率（1日3区分別）

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------------|------------|------------|
| 611回 58.7% | 615回 59.1% | 651回 62.5% |

オ 工房利用率（1日3区分別）

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------------|------------|------------|
| 495回 47.6% | 477回 45.8% | 579回 55.6% |

カ 研修室利用率（1日3区分別）

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------|------------|------------|
| 458回 44% | 585回 56.2% | 627回 60.2% |

3 評価について

(1) 小劇場関係

市民参加の「劇団わが町」による活動は、地域に根差したオリジナル脚本による作品「わが町しんゆり」の上演や、演じるという立場だけではなく物語を作るというアプローチから舞台芸術を理解する機会が作られるなど、舞台芸術の創造・発信に向けて発展的な取り組みができています。また、演劇・ミュージカルを題材にしたワークショップの開催により、地域の若年層、親子が舞台芸術に触れる機会を提供できている。

| | | |
|---|-----------------------------|--|
| | | <p>音楽大学が指定管理者に加わったことにより、ミュージカルや人形劇・太鼓など新しい演目を加えるとともにディレクターを配置し円滑な舞台芸術の企画・運営が行われた。また、ジャズ音楽（年5～6回）と寄席（年10回）の公演が定期的かつ継続的に開催されており、市内外を問わず幅広い人々が気軽に芸術文化に親しめる鑑賞機会を提供した結果、多くの良質な公演、舞台芸術プログラムをアートセンターから発信できたものと評価できる。</p> <p>(2) 映像館関係</p> <p>月曜の休映日、点検日、休館日を除くほぼ毎日、新作・名画・秀作の作品を中心に上映するとともに、市内撮影作品や市にゆかりのある作品を積極的に上映したほか、副音声イヤホンガイド付き上映や日本語字幕付き上映、保育付き上映などのバリアフリー上映を実施し、障害の有無にかかわらず幅広い市民が鑑賞できる機会を提供できている。また、映画大学が指定管理者に加わったことにより、上映作品の選定において専門的な見地からのプログラムを組むことが可能となるとともに、会員制度のアルテリオ・シネマ会員は市内や県内はもとより東京都など県外居住者の増加により、施設の認知度がさらに高まり、平成26年度の映像館入場者数及び事業収益が開館以来最高となっており、アートセンターから多くの良質な映画・映像プログラムの提供ができたものと評価できる。</p> <p>(3) 市が指定する特定の事業に関すること</p> <p>特定事業の KAWASAKI しんゆり映画祭（KAWASAKI アーツ・映画祭事務局主催）ではメイン会場として、川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり実行委員会主催）では事務局を担うなど、地域のイベントに積極的に関与し、地域の文化芸術のネットワーク拠点としての役割を果たしたものと評価できる。</p> <p>(4) その他の施設関係</p> <p>録音室・映像編集室の貸館では、事業収益の中から平成26年6月に設備の更新（パソコンと編集機器）を行い、朗読や音訳団体の利用が増加し、貸館件数は前年度比で162回の増となった。専門性が高い設備が備えられていることから、陳腐化しないよう機器のバージョンアップを行い、利用率向上に努めた結果が利用件数の増加につながっていると評価できる。</p> <p>(5) 施設の運営、設備等の維持・管理に関する業務</p> <p>設備等の維持・管理に関する業務に関しては、将来の安定的な施設運営や利用者サービス向上の観点から、必要最低限の設備の保守・管理にとどまらず、照明設備の一部LED化や防犯カメラの増設等、計画的な設備の更新を行った結果、年間約6～8万人の入場者がありながら施設関連の苦情や意見はなく、市民や利用者に適正なサービスが提供できたものと評価できる。</p> |
| 2 | <p>当初の事業目的を達成することができたか。</p> | <p>アートセンターは、アートセンター条例第1条にあるとおり、芸術文化の創造、発信、及び交流を促進するとともに、芸術文化の鑑賞の機会を提供し、もって市民の芸術文化の発展に寄与することを目的として設置した芸術文化施設であり、運営方針として、第1に「新しい芸術文化を創り発信する（創る）」こと、第2に「芸術文化の担い手を育てる（育てる）」こと、第3に「市民が質の高い芸術文化を楽しむ（楽しむ）」こと、第4に「ネットワーク型アートセンターコアとして芸術のまちづくりをリードする（ネットワークする）」こと、第5に「効果的・効率的運営をして、持続させる（効果的運営）」ことを掲げており、この運営方針ごとに達成度を判断する。</p> <p>第1の（創る）については、ヤングミュージカルや「劇団わが町」の公演など、市民参加型の公演を企画し、地域に根差したオリジナル脚本による公演の実施や、劇団員が作品の創造の段階から関わるなど、アートセンターから新しい舞台芸術の創造・発信を促進した。</p> |

| | | |
|---|---------------------------------|---|
| | | <p>第2の（育てる）については、上記の市民参加型公演の舞台稽古や、小劇場・映像館で若年層を対象としたワークショップを開催し、青少年が舞台芸術・映像芸術に触れ、芸術文化に関心を持ち、興味を持続させるプログラムを実施したことで、青少年の芸術文化に対する感性や創造性の育成に寄与した。</p> <p>第3の（楽しむ）については、小劇場でのジャズ音楽や寄席の定期公演の実施、映像館での映画上映事業・トーク等事業・バリアフリー上映事業の実施にあたって、指定管理者の専門性を生かし話題性があり芸術性が高い鑑賞事業が企画され、幅広い人々に鑑賞機会が提供された。</p> <p>第4の（ネットワークする）については、「KAWASAKI しんゆり映画祭」ではメイン会場として映画祭事務局と連携し、「アルテリッカ・しんゆり」では、実行委員会の一員として、アルテリッカ事務局及び調整機能を担い、文化芸術のネットワークの拠点としての役割を果たした。</p> <p>第5の（効果的運営）については、第2期指定管理者として新たに構成員となった音楽大学、映画大学とともに、地域に根差した運営を行いながら、各事業においては上映作品の選定や劇場公演の調整など、それぞれの強みを活かした取組の結果、集客効果の高い公演が多く入場者の増加につながった。収支状況については、指定管理者による効果的な事業実施や自主財源確保に向けた取組により、事業活動支出に占める指定管理委託料の割合が減少しており、効率的な管理運営が行われている。</p> <p>以上のことから、運営方針に沿った事業が実施されており、事業目的を達成しているものと評価できる。</p> |
| 3 | 特に安全・安心の面で問題はなかったか。 | <p>事業収益の中から設備の修繕・更新を計画的に実施しており、手すりやステップの改修や防犯カメラの増設など、必要最低限の設備の保守・管理にとどまらず、安全面の設備改修を計画的に実施していることから、適正なサービスが提供できた。</p> <p>事故・災害発生時の対応マニュアルを作成し職員の役割分担等を明確にするとともに、消防訓練を年2回実施し、災害が発生したときの行動要領を所内で確認している。</p> <p>個人情報の保護においても、適正な運用がされており、川崎市個人情報保護条例をはじめとする関係法令の遵守がなされているほか、雨漏りなどの緊急時にも所管課や修繕事業者への連絡など、迅速かつ的確な対応ができており、安全・安心に関する取組については、適正であると評価できる。</p> |
| 4 | さらなるサービス向上のために、こういった課題や改善策があるか。 | <p>劇場の利用については、主催公演にかかる稽古を指定管理者グループの施設を無償で活用することにより、劇場の貸館に充てられる日数を確保した結果、貸館数が増え収入の増加にもつながったが、劇場の利用率としては67%台で、さらに劇場利用を促進できる余地がある。今後は、さらなる劇場の認知度向上に取り組むとともに、これまでの運営手法等を検証し、効果的な事業展開を図る必要がある。</p> <p>録音や映像編集については、専門性の高い分野であり、アートセンターに編集等の設備があることへの認知度が低い状況があると考えられる。平成26年度には設備を更新した結果、録音室及び映像編集室の利用増加につながったが、今後は、専門性が高い設備の定期的な更新や利用者層を絞り広報するなど、専門性の高い設備を有する本施設の特性を踏まえ、効果的・効率的な活用に向けた取組が必要であると考えます。</p> <p>また、今後とも魅力ある施設運営を行っていくためには、事業等で利用者の満足度等が分かるよう、アンケートを見直すなど、継続した利用者ニーズの把握と分析を行いながら、事業展開を図る必要があると考えます。</p> |

3. これまでの事業に対する検証

| | 検証項目 | 検証結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----------------------------------|--|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|-----|-----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1 | 所管課による適切なマネジメントは行われたか。 | <p>毎月1回、アートセンター職員、所管課職員等が参加して連絡調整会議を開催し、各事業の進捗状況・結果、施設管理の状況等について報告・確認を行うとともに、年間を通じた各種事業については、適宜、視察やヒアリングを実施することで、事業内容や手法の確認のほか、利用者の状況把握に努めた。</p> <p>また、雨漏りなどの緊急の対応が必要となる場合には、迅速に現場へ赴き、破損箇所等の状況把握を行うとともに、指定管理者と協議を行ったうえ、必要な指導・指示を行っている。また、備品管理について、所管課が立会いのもと、現物と台帳の確認、備品シールの貼付確認などの指導を行った。</p> <p>次の指定期間には開館10年を迎えることから、適切な施設の長期修繕等への対応を行っているが、今後は市によるモニタリング手法の検証とモニタリング強化へ向けた取組が必要であると考えます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 制度活用による効果はあったか。 | <p>1 サービス面</p> <p>指定管理者がもつ舞台芸術・映像芸術に対する専門的知識と事業実施に関するノウハウを活かした施設運営・事業展開が行われ、地域の民間団体とのネットワークを活用した運営ができた。施設全体の入場者数は毎年増加しており、サービス面で期待したとおりの効果を得ることができたと評価できる。</p> <table border="1" data-bbox="502 940 1388 1075"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小劇場</td> <td>5,136</td> <td>12,110</td> <td>14,737</td> <td>11,405</td> <td>15,575</td> <td>15,720</td> <td>17,925</td> <td>17,116</td> </tr> <tr> <td>映像館</td> <td>7,831</td> <td>34,419</td> <td>35,903</td> <td>35,088</td> <td>39,807</td> <td>48,228</td> <td>49,691</td> <td>65,224</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>12,967</td> <td>46,529</td> <td>50,640</td> <td>46,493</td> <td>55,382</td> <td>63,948</td> <td>67,616</td> <td>82,340</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 コスト面</p> <p>第1期の指定管理料年平均154,929千円に対して、今期の指定管理料年平均額は147,844千円(△4.5%)となっている。一方で、利用料金等の収入は年々増加しており、指定管理者の努力により費用対効果の高い施設の管理運営がなされていると言える。</p> <table border="1" data-bbox="502 1366 1420 1568"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入c</td> <td>18,338</td> <td>41,782</td> <td>49,219</td> <td>42,349</td> <td>53,219</td> <td>62,839</td> <td>70,979</td> <td>85,329</td> </tr> <tr> <td>指定管理料b</td> <td>142,038</td> <td>148,419</td> <td>156,819</td> <td>156,945</td> <td>157,535</td> <td>147,508</td> <td>147,592</td> <td>148,432</td> </tr> <tr> <td>支出a</td> <td>148,495</td> <td>194,069</td> <td>239,702</td> <td>209,409</td> <td>236,092</td> <td>210,119</td> <td>216,406</td> <td>245,343</td> </tr> <tr> <td>b/a (%)</td> <td>95.7</td> <td>76.5</td> <td>65.4</td> <td>74.9</td> <td>66.7</td> <td>70.2</td> <td>68.2</td> <td>60.5</td> </tr> <tr> <td>c/a (%)</td> <td>12.3</td> <td>21.5</td> <td>20.5</td> <td>20.2</td> <td>22.5</td> <td>29.9</td> <td>32.8</td> <td>34.8</td> </tr> </tbody> </table> | 年度 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | 小劇場 | 5,136 | 12,110 | 14,737 | 11,405 | 15,575 | 15,720 | 17,925 | 17,116 | 映像館 | 7,831 | 34,419 | 35,903 | 35,088 | 39,807 | 48,228 | 49,691 | 65,224 | 合計(人) | 12,967 | 46,529 | 50,640 | 46,493 | 55,382 | 63,948 | 67,616 | 82,340 | 年度 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | 収入c | 18,338 | 41,782 | 49,219 | 42,349 | 53,219 | 62,839 | 70,979 | 85,329 | 指定管理料b | 142,038 | 148,419 | 156,819 | 156,945 | 157,535 | 147,508 | 147,592 | 148,432 | 支出a | 148,495 | 194,069 | 239,702 | 209,409 | 236,092 | 210,119 | 216,406 | 245,343 | b/a (%) | 95.7 | 76.5 | 65.4 | 74.9 | 66.7 | 70.2 | 68.2 | 60.5 | c/a (%) | 12.3 | 21.5 | 20.5 | 20.2 | 22.5 | 29.9 | 32.8 | 34.8 |
| 年度 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小劇場 | 5,136 | 12,110 | 14,737 | 11,405 | 15,575 | 15,720 | 17,925 | 17,116 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 映像館 | 7,831 | 34,419 | 35,903 | 35,088 | 39,807 | 48,228 | 49,691 | 65,224 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(人) | 12,967 | 46,529 | 50,640 | 46,493 | 55,382 | 63,948 | 67,616 | 82,340 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収入c | 18,338 | 41,782 | 49,219 | 42,349 | 53,219 | 62,839 | 70,979 | 85,329 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理料b | 142,038 | 148,419 | 156,819 | 156,945 | 157,535 | 147,508 | 147,592 | 148,432 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支出a | 148,495 | 194,069 | 239,702 | 209,409 | 236,092 | 210,119 | 216,406 | 245,343 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| b/a (%) | 95.7 | 76.5 | 65.4 | 74.9 | 66.7 | 70.2 | 68.2 | 60.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| c/a (%) | 12.3 | 21.5 | 20.5 | 20.2 | 22.5 | 29.9 | 32.8 | 34.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか | <p>アートセンターは、平成29年からの次期指定期間には10年を迎え、今後は施設と設備の老朽化による修繕リスクが高まっていくことから、修繕業務が円滑に進められるよう市と指定管理者のリスク分担を仕様書等にてより明確にすることが必要であると考えます。また、備品管理についても、台帳に基づく管理が継続的に実施されるよう、取扱いに関する詳細な内容を仕様書等において明確にする必要がある。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか | <p>アートセンターについては、開館当初から指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを活用した効果的・効率的な管理運営を行っている。特に、第2期では文化財団がアートセンター周辺の大学との連携により指定管理者グループとして、それぞれの舞台芸術・映像芸術に関する専門的な知識・経験や、専門性の高い施設の運営に関するノウハウを有する人材を活かした事業展開を行っており、今後とも指定管理者制度を活用した施設運営が効果的な手法といえる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

4. 今後の事業運営方針について

アートセンターについては、平成19年度の開館から8年が経過するが、民間事業者による効果的・効率的な管理運営が継続して行われていることが、これまでの利用状況や収支状況等により明らかであることから、今後とも指定管理者制度の活用による施設の管理運営が適していると考えており、これからもアートセンターの運営方針である「創る」「育てる」「楽しむ」「ネットワークする」「効果的運営」に沿って、芸術文化の創造・発信・交流を促進するとともに、芸術文化の鑑賞機会の提供をめざしていく。

【第1（創る）について】地域における様々な芸術活動と連携し、新たな芸術文化を創造・発信していくとともに、劇場と映像館を併せ持つ全国的にもめずらしい施設特性を最大限に活かした事業を展開していく。

【第2（育てる）について】青少年が舞台・映像芸術に触れる場を提供するとともに、若手の芸術家が活動できる場を提供していくことにより、芸術文化の担い手を育てていく。

【第3（楽しむ）について】市民に質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供するだけでなく、市民が主体的に参加できるプログラムや芸術家との交流など、市民が芸術文化を様々な形で楽しめる場づくりをめざす。

【第4（ネットワークする）について】これまでの地域住民や大学、企業、各種団体等との様々な連携により培ってきたネットワークをさらに広げ、文化芸術のネットワーク拠点としての役割を果たしていく。

【第5（効果的運営）について】劇場と映像館を併せ持つ小規模施設であり専門性の高い設備を有する施設としての特性を活かしながら、専門的な人員体制を確保したうえで、効果的・効率的な管理運営を継続して行っていく。

今後とも施設の安定的な運営を継続していくためには、指定管理者による管理運営が望ましいが、実際に施設を管理運営していく民間事業者が将来にわたる収支予測を立てるには、短期での運営よりも長期にわたる運営の方がより確実な事業計画等が可能となると考えられることから、アートセンターにおける今後のさらなる安定的かつ効率的な運営と芸術文化に関する魅力ある事業展開を行っていくため、将来に向けて長期の指定期間の設定について検討していくとともに、あわせて公平性の確保やモニタリングの強化についても検討していく。